

第2回

別府市立図書館及び別府市美術館整備 基本構想検討委員会



平成28年11月28日(月)

14:00~

別府市役所4階 4F-3会議室

別府市教育委員会

【第2回】

別府市立図書館及び別府市美術館整備基本構想検討委員会

平成28年11月28日（月）
14時00分から
別府市役所4F3会議室

- ・別府市長あいさつ（15時30分～）
- ・委員紹介

【議 事】

「図書館のあり方を考える。」

- 1 「第1回まちから考える図書館・美術館づくりワークショップ」について【報告】
- 2 図書館建築及び運営コストについて【報告】
- 3 近隣都市の現状から見た図書館・美術館のあり方について【説明・審議】
- 4 別府市における図書館のあり方について【審議】
- 5 今後のスケジュールについて
 - (1) 委員会
 - 第3回 12月19日（月）14時から
 - 第4回 1月23日（月）14時から
 - 第5回 3月初旬（予定）
 - (2) ワークショップ
 - 第2回 12月18日（日）13時から16時30分
【まちと歴史・芸術・文化と美術館】
 - 第3回 1月22日（日）13時から16時30分
【まちと図書館・美術館の未来像】
- 6 連絡事項

「別府市立図書館及び別府市美術館整備基本構想検討委員会」委員名簿

	氏名	所属	備考
1	中山 昭則	別府大学国際経営学部教授	学識経験者
2	田中 恒治	元別府大学短期大学部学長	学識経験者
3	鶴田 浩一郎	NPO法人ハットウ・オンパク 代表理事	学識経験者
4	松岡 恭子	(株)スピングラス・アーキテクト 代表取締役	学識経験者
5	中村 佳史	HUMIコンサルティング 代表取締役	学識経験者
6	平石 栄二	別府市図書館協議会委員長	図書関係者
7	山出 淳也	BEPPU PROJECT 代表理事	美術関係者
8	須股 恵美子	大分県教育委員会社会教育課 社会教育主事	社会教育関係者
9	澁谷 千晶	小学校図書館教育主任会推薦者	学校教育関係者
10	池田 祐介	中学校美術科主任会推薦者	学校教育関係者
11	豊田 若菜	別府大学 国際経営学部	大学生
12	大津 国治	溝部学園短期大学 幼児教育学科	大学生
13	渡辺 彩加	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部	大学生
14	加藤 千明	NPO法人大分研究所	公募市民
15	明石 智子	自営業	公募市民
16	大鶴 史朗	(株)TBSテレビ	公募市民

2 図書館建築及び運営コストについて

<類似事例：同規模人口及び類似基幹産業：観光・温泉の自治体>

1. 鹿児島県霧島市

人口：約 12 万 7 千人 基幹産業：観光・霧島温泉

霧島市立図書館	国分図書館・隼人図書館・溝辺図書館 横川図書館・牧園図書館・霧島図書館・福山図書館
年間利用状況	年間利用人数：115,829 人 貸出冊数：403,892 冊 入館者数：244,090 人 (2015 年度 3 月末現在)
蔵書冊数	409,826 冊
図書館費	約 1 億 9 百万円 (2016 年度) ※社会教育費の 10.54%

国分図書館	
所在地	鹿児島県霧島市国分市中央 3-45-1 国分シビックセンター内 ※市庁舎と図書館・公民館・スポーツ施設等の複合施設 ※竣工時は国分市立図書館として開館(人口約 5 万 4 千人) 2005 年国分市と霧島町ほか 5 町が合併し霧島市となった
竣工年月日	1996 年 12 月
設計	久米設計
敷地面積	35.505 m ²
延床面積	23,710 m ² (図書館占有面積：2,622 m ²)
規模	地上 8 階、塔屋 1 階
工事期間	1992 年 6 月～1993 年 12 月
総事業費	126.42 億円

2. 山口県山口市

人口：約 19 万 3 千人 基幹産業：観光・湯田温泉

山口市立図書館	中央図書館・小郡図書館・秋穂図書館 阿知須図書館・徳地図書館・阿東図書館
年間利用状況	貸出利用人数：108,081 人 貸出冊数：1,451,913 冊 入館者数：713,520 人 (2015 年度 3 月末現在)
蔵書冊数	624,949 冊
図書館管理運営費	約 1 億 6 千万円 (2015 年度)
図書館資料購入費	約 5 千 7 百万円 (2015 年度)

山口市中央図書館 (山口情報芸術センター YCAM)	
所在地	山口県山口市中国町 7-7 ※美術館、ワークショップ・スペース等の複合メディア芸術施設
竣工年月日	2003 年 11 月
設計	磯崎新アトリエ・山口市都市整備部建築課
敷地面積	14,536 m ²
延床面積	3927.61 m ²
規模	地上 2 階
工事期間	2001 年 8 月～2003 年
総事業費	約 100 億円 (施設建設費：約 70 億円)

3. 広島県廿日市市

人口：約 12 万 7 千人 基幹産業：観光・宮島地域 世界遺産厳島神社

はつかいち 市民図書館	はつかいち市民図書館・大野図書館・さいき図書館
年間利用状況	貸出利用人数：115,829 人 貸出冊数：403,892 冊 入館者数：244,090 人 (2015 年度 3 月末現在)
蔵書冊数	431,214 冊
図書館費	約 1 億 6 千万円 (2015 年度) ※社会教育費の 2.5%

はつかいち市民図書館	
所在地	廿日市市下平良 1-11-1 ※市庁舎と図書館・ホール・美術ギャラリー等の複合施設
竣工年月日	1997 年 2 月
設計	株式会社 佐藤総合計画
敷地面積	21,923 m ²
延床面積	23.985 m ²
規模	地上 7 階、地下 1 階
工事期間	1995 年 1 月～1997 年 2 月
総事業費	184.81 億円 (用地費 70.37 億円)

4. 栃木県那須塩原市

人口：約 11 万 7 千人 基幹産業：観光・塩原温泉
 新図書館計画進行中（2019 年開館予定）

那須塩原市図書館	西那須野図書館・黒磯図書館・塩原図書館
年間利用状況	年間利用人数：123,327 人 年間貸出冊数：616,726 冊 (2014 年度統計)
蔵書冊数	376,634 冊
図書館費	約 1 億 6 千万円（2016 年度）※社会教育費の 11.25%
指定管理者制度	2017 年 4 月 1 日から導入予定

黒磯図書館	
所在地	栃木県那須塩原市末広町 53-43 ※竣工時は黒磯市図書館として開館（人口約 5 万 8 千人）
竣工年月日	1987 年 4 月
敷地面積	4,076.34 m ²
延床面積	1,575.31 m ²
規模	地上 2 階
総事業費	不明

新図書館計画	（仮称）駅前図書館等整備事業の概要
事業予定地	那須塩原市本町 40-442 番地（JR 黒磯駅隣接地）
敷地面積	約 4,000 m ²
施設規模	4,500 m ² 程度
概算事業費	20 億円以内（施設駐車場、黒磯駅西口駐輪場を含む） ※什器・図書等の備品費用は含まない
整備スケジュール	基本設計：2016 年 4 月～2016 年 10 月 実施設計：2016 年 11 月～2017 年 6 月 工 事：2017 年 9 月～2019 年 3 月 開 館：2019 年 10 月

<新規事例：2010年以降に新図書館が開館した自治体>

5. 山口県下関市

人口：約28万1千人

山口市立図書館	中央図書館・長府図書館・彦島図書館 菊川図書館・豊浦図書館・豊田図書館・豊北図書館
年間利用状況	貸出利用人数：104,001人 貸出冊数：1,550,303冊 入館者数：571,489人 (2013年度現在)
蔵書冊数	672,894冊 (2013年度)
図書館管理運営費	約2億8千万円 (2015年度)

下関市立中央図書館（下関生涯学習プラザ：DREAM SHIP）	
所在地	山口県下関市細江町3-1-1 下関市生涯学習プラザ内 ※生涯学習施設、ホール等の複合施設
竣工年月日	2010年3月20日
設計	大建・ペリクラークペリ・真柄・広成特別共同体
敷地面積	4,852.49 m ²
延床面積	18,409.98 m ²
規模	地上2階（図書館は4階～6階）
工事期間	2001年5月～2003年2月
総事業費	約62億円（旧施設の解体も含む）

6. 岡山県瀬戸内市

人口：約3万7千人

瀬戸内市立図書館	瀬戸内市民図書館（もみわ広場） 牛窓図書館・長船図書館
年間利用状況	貸出利用人数：8,427人 貸出冊数：134,028冊 (2011年度現在)
蔵書冊数	約203,676冊（2015年度）
図書館費	約3千2百万円（2015年度）

瀬戸内市民図書館 もみわ広場	
所在地	岡山県瀬戸内市邑久町尾張 465-1
竣工年月日	2016年6月1日
設計	有限会社 香山壽夫建築研究所
敷地面積	10,238.31 m ²
延床面積	2,399 m ²
規模	地上2階
工事期間	2014年12月～2016年5月
総事業費	約5億円

7. 新潟県新発田市

人口：約 10 万 1 千人

新発田市立図書館	中央図書館
年間利用状況	貸出利用人数：42,543 人 貸出冊数：259,578 冊 入館者数：184,476 人 (2014 年度現在)
蔵書冊数	213,389 冊 (2014 年度)
図書館費	約 6 千 6 百万円 (2015 年度)

新発田市立中央図書館	
所在地	新潟県新発田市諏訪町 1-1032 イクネスしばた内 ※子どもセンター、キッチンスタジオ等の複合施設
竣工年月日	2016 年 7 月 3 日
設計	株式会社 佐藤総合計画
敷地面積	4,600 m ²
延床面積	5,158 m ² (図書館占有面積：3,759 m ²)
規模	地上 3 階
工事期間	2014 年 12 月～2016 年 5 月
総事業費	約 39 億円

8. 山形県米沢市

人口：約 8 万 9 千人

米沢市立図書館	市立米沢図書館
年間利用状況	貸出利用人数：31,408 人 貸出冊数：281,946 冊 (2015 年度現在)
蔵書冊数	290,850 冊 (2015 年度)
図書館費	約 3 千万円 (2014 年度決算額)

市立米沢図書館	
所在地	山形県米沢市中央 1-10-6 ナセ BA 内 ※市民ギャラリー等の複合施設
竣工年月日	2016 年 7 月 1 日
設計	株式会社 山下設計
敷地面積	3,217.92 m ²
延床面積	6,193.27 m ² (図書館占有面積：約 3,500 m ²)
規模	地上 5 階
工事期間	2013 年 9 月～2016 年 3 月
総事業費	約 28 億円

9. 青森県十和田市

人口：約 6 万 6 千人

十和田市立図書館	十和田市民図書館
年間利用状況	貸出冊数：184,358 冊 入館者：52,823 人 (2014 年度現在)
蔵書冊数	136,884 冊 (2014 年度)
図書館費	約 1 千 5 百万円 (2014 年度決算額)

十和田市民図書館	
所在地	青森県十和田市西十三番町 2-18 ※教育研修センターとの複合施設
竣工年月日	2015 年 1 月 15 日
設計	安藤忠雄建築研究所
敷地面積	9,519.46 m ²
延床面積	2,574 m ²
規模	地上 1 階
工事期間	2013 年 7 月～2014 年 9 月
総事業費	約 14 億円

10. 北海道北見市

人口：約 12 万 5 千人

北見市立図書館	中央図書館・端野図書館・登呂図書館・留辺蘂図書館
年間利用状況	貸出利用人数：26,166 人 貸出冊数：66,675 冊（2014 年度実績） 入館者：51,558 人 （2015 年度現在）
蔵書冊数	714,421 冊（2015 年度）
図書館費	約 6 千 3 百万円（2015 年度決算額）

北見市立中央図書館	
所在地	北海道北見市泉町 1-2-21
竣工年月日	2016 年 7 月 1 日
設計	久米・エヌ・ケー特定委託業務共同企業体
敷地面積	4,467.89 m ²
延床面積	約 4,800 m ²
規模	地上 3 階
工事期間	2011 年～2014 年
総事業費	約 26 億円

《別府市新図書館の設置及び運営上の望ましい基準による算出》

新図書館の規模の算出にあたり、日本図書館協会町村図書館活動推進委員会（現図書館普及委員会）による『図書館による町村ルネサンス L プラン 21 21 世紀の町村図書館新興をめざす政策提言』（日本図書館協会、2001 年 12 月）にしたがって算出した。

なお、上記資料において揚げられた数値は、生涯学習審議会社会教育文化審議会計画部会図書館専門委員会による『公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準について（中間まとめ）』（2000 年 12 月 8 日）の「参考資料：(2) 数値目標の例」により算出した。

自治体の人口により、その規模等を算出するため、別府市の 2016 年 9 月 30 日現在の人口：120,050 人を算出の基礎とした。

総人口	120,050 人 (2016 年 9 月 30 日現在)
延床面積	5,310 m ²
蔵書冊数	463,185 冊
開架冊数	310,400 冊
年間資料費	71,421,500 円
職員数	41 人

『図書館による町村ルネサンス L プラン 21 21 世紀の町村図書館新興をめざす政策提言』より算出

参考資料

日本図書館協会町村図書館活動推進委員会『図書館による町村ルネサンス L プラン 21 21 世紀の町村図書館新興をめざす政策提言』（日本図書館協会、2001 年 12 月）

3 近隣都市の現状から見た図書館・ 美術館のあり方について

別府市近隣市町等調査

1. 大分県立図書館

【施設概要】

所在地	〒870-0008 大分県大分市王子西町 14 番 1 号
開館日	現図書館：1995 年 2 月（旧図書館：1966 年 7 月）
設計	磯崎新アトリエ
敷地面積	15,266.77 m ² （旧図書館 3,023.40 m ² ）
建築面積	6,669.24 m ² （旧図書館 1,487.85 m ² ）
延床面積	合計：23,0002.22 m ² 図書館専用部分：11,141.81 m ² （旧図書館 4,632.05 m ² ） 公文書館専用部分：2,105.01 m ² 先哲資料館専用部分：1,331.55 m ² 3 館共用部分：8,423.85 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造、一部コンクリート造
規模	地上 6 階・地下 1 階
工事期間	平成 4 年 10 月 1 日～平成 6 年 9 月 30 日
総工費	約 119 億円
アクセス	公共交通機関の場合 JR 大分駅北口駅前 7 番乗車、県立図書館行きに乗車 14 分 JR 大分駅より徒歩 25 分

【図書館概要】

開館時間	平日：午前 9 時～午後 8 時 土日祝日：午前 9 時～午後 5 時 休館：第 1・第 3・第 5 月曜日
入館者数	354,843 人（2015 年統計）
特徴	複合施設（公文書館・先哲資料館）
主要設備	閲覧室（座席数 303 席） 学習室（座席数 226 席） 視聴覚ホール（座席数 226 席） 駐車場（合計 235 台） 駐輪場（屋外駐輪場 132 台）
インターネット環境	公衆無線 LAN（利用範囲制限有り） 条件：利用申込書提出のうえ、パスワードを取得
蔵書冊数	1,144,282 冊（2016 年 3 月現在）
コレクション	一般資料：約 267,800 冊（うち外国語資料：約 6,300 冊） 子育て情報コーナー：約 7,200 冊 児童書：約 59,700 冊 郷土資料：約 28,800 冊

【サービス内容】

大分県立図書館は、大分県立先哲資料館並びに大分県公文書館の 3 つの施設からなる複合施設「豊の国情報ライブラリー」として 1995 年に開館。中央の大分県立図書館を挟んで、左右に先哲資料館と公文書館が設置されている。基本方針として、県民の生涯にわたる多様で自発的、継続的な学習欲求にこたえるキー・ステーションを掲げ、「だれでも、いつでも、どこでも」利用できる施設としての機能を果たすため、県内の公共図書館等の連携を図っている。

【簡易分析】

隔年で実施している利用者満足度調査（2015 年版）では、60%以上の回答者が現状のサービスに満足していると回答。図書館利用の目的については、自分の趣味や楽しみのために利用しているという回答が全体の 46 %を占める一方、仕事や個人での調査・研究での利用と回答したのは合わせて 28 %となったことから、仕事や生活における課題解決を目的とした利用が増えていることがわかる。

【参考資料】

・平成 27 年度版大分県立図書館要覧（抜粋版）

[http://kyouiku.oita-ed.jp/syakai/H27_大分県立図書館要覧\(抜粋版\).pdf](http://kyouiku.oita-ed.jp/syakai/H27_大分県立図書館要覧(抜粋版).pdf)

・平成 27 年度 11 月ダイジェスト版大分県立図書館利用者満足度調査 結果報告

<http://library.pref.oita.jp/kento/information/announce/articles/20151217/digest.pdf>

【写真】（撮影：ARG）



2. 大分県立美術館

【施設概要】

所在地	〒870-0036 大分県大分市寿町2番1号
開館日	2015年4月24日
設計	株式会社 坂茂建設事務所
敷地面積	13,517.74 m ²
建築面積	16,817.69 m ²
ペDESTリア ンデッキ	延長 66.86m 幅 3.45m
延床面積	16,800 m ²
建物構造	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造
規模	地上4階・地下1階
工事期間	平成25年4月～平成27年3月
総工費	約80億円
アクセス	公共交通機関 <JR大分駅から> ・JR大分駅府内中央口（北口）から徒歩15分 ・JR大分駅前7番乗り場、大分駅上野の守口から、中心市街地循環バス「大分きゃんばす」乗車、「オアシス広場前（県立美術館入り口）」下車、徒歩1分 車利用の場合 ・大分ICから車で10分

【美術館概要】

開館時間	午前 10:00～19:00（入館は 18:30 まで） 金曜・土曜：10:00～20:00（入館は 19:30 まで） 原則無休
観覧料	一般 300 円、大学生・高校生 200 円、中学生以下無料
キュレーター	新見隆（現大分県立美術館長） 1958 年広島県生まれのフリーランス・キュレーター。慶應義塾大学文学部フランス文学科卒業後、1982 年から 1999 年 2 月まで西武美術館・セゾン美術館学芸員として展覧会企画を担当。1999 年より武蔵野美術大学芸術文化学科教授として教鞭を執る。
主要設備	アトリウム、展示室、屋外展示スペース、体験学習室・アトリエ 情報コーナー、ミュージアムショップ、カフェ 屋外駐車場（143 台）、地下駐車場（107 台） 屋外駐輪場（364 台）
収蔵品数	約 5,000 点
コレクション	大分県出身関係作家の作品を中心に江戸後期から昭和前半まで広く収蔵。戦後豊後南画、日本画、洋画に加え、竹工芸や彫刻などの立体作品も豊富に収蔵している。

【サービス内容】

「県民とともに成長する」がモットー。美術の多面的な可能性やそこに行けばなにか新しい驚きの発見ができる場所へ成長するため、日々変化しながら驚きと出会いを生み出す工夫を行なっている。多様な県民のニーズに対して柔軟に広がり対応できる道具として使ってもらい、面白がってもらう存在であることを目指している。

建築の側面からの仕掛けづくりとして、普段美術館に来ない人をどのように引き寄せるか、または、どのように人々を日常的に集めるかを考えて建設されている。また、街と一体化する施設づくりをめざし、ガラス水平折戸を解放することにより道路と人々の自由な往来を生み、向かいあった iichiko 文化センターとも連携したイベントも開催可能となり、2つの文化施設を中心に街に活気を回廊の一部として機能している。

アート教育普及（ミュージアムエデュケーション）の一環として、様々なプログラムを提供。学校団体向けのスクールプログラムだけではなく、子どもから大人まで身体性を体験するワークショップや創造性を高めるレクチャー・オープンアトリエ、アートを通じたコミュニケーションを生み出す鑑賞ツアー、アートから地域の魅力を発掘するアウトリーチ活動などがある。

【簡易分析】

多彩な教育プログラムから子どもと訪れても楽しめる美術館として、大分県だけではなく九州各地から家族連れでの来館者が訪れている。コレクション音声ガイドシステムを導入し、スマホからアプリをダウンロードすることで多言語での音声ガイドが視聴可能。

【参考資料】

- ・ 建築について 大分県立美術館（OPAM）

<https://www.opam.jp/page/construction.html>

- ・ 教育普及について 大分県立美術館（OPAM）

[http://opam.jp/educational/](http://opam.jp/educationals/)

- ・ コレクション音声ガイドのご案内

https://www.opam.jp/files/ExhibitionDetail_1035_file.pdf

【写真】（撮影：ARG）



3. 大分市民図書館（本館）

【施設概要】

所在地	〒870-0839 大分県大分市金池南1丁目5番1号 ホルトホール大分内1階～2階
開館日	2013年7月24日
設計	株式会社 佐藤総合計画
敷地面積	18,970.61 m ²
建築面積	14,358.45 m ²
延床面積	38,431 m ² （図書館占有面積：4,548 m ² ）
建物構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋造、コンクリート造
規模	地上5階・地下1階（図書館は1階・2階）
工事期間	平成25年7月～平成27年3月
総工費	約129億円

【図書館概要】

開館時間	午前9時～午後9時 休館：第2・第4月曜日
蔵書冊数	707,954冊（2015年3月現在）
来館者数	538,475人（2015年3月現在 ※本館のみ）
主要設備	閲覧席（385席） 学習席（48席） 地上駐車場（車椅子利用者専用駐車場4台） 地下駐車場（169台） 自転車駐車場（278台）
インターネット環境	公衆無線LAN：Horuto_Wi-Fi（利用範囲制限有り） 条件：要事前登録、利用時間は認証後から1時間
アクセス	JR大分駅より徒歩2分

【サービス内容】

大分駅南口のシンボルロード「大分いこいの道」に面し、シンボルロードと一体となり街のエントランスとなる交流装置として計画された。文化、福祉・健康、教育・情報、産業、交流、にぎわいの7つの機能を備えた複合施設。なお、図書館部分は施設全体の延べ床面積の約11.8%を占めている。市民図書館は開放的なエントランスホールから続く1階部分には、駅利用者や買い物客が気軽に立ち寄れるよう雑誌や新聞、タウン誌、子育て情報誌など親しみやすい資料を中心に配架している。2階部分は、一般書や専門書をはじめ郷土・参考資料などが分かりやすく区別され配架されている。

【簡易分析】

自動返却仕分け機をはじめ自動化書架、自動貸出機を備えたため、利用者の時間を省略するスムーズな貸出と返却が可能。除籍された本のリサイクルフェアだけでなく、保存期間の過ぎた雑誌の無料配布、本のフリーマーケットなど多様なイベントを展開。また、大分市美術館の特別展示会と連動させたテーマ展示を行い、相互連携も図っている。

【写真】（撮影：ARG）



4. 大分市美術館

【施設概要】

所在地	〒870-0832 大分県大分市大字上野 865 番地
開館日	1998 年 2 月 17 日
設計	内井昭蔵建築設計事務所
敷地面積	129,800 m ² （上野丘公園全体）
建築面積	6,570.65 m ²
延床面積	9,036.48 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造
規模	地上 2 階
工事期間	平成 8 年 12 月 18 日～平成 10 年 9 月 30 日
総工費	約 70 億円
アクセス	公共交通機関の場合 《JR 大分駅から》 大分バス 大分市美術館・駅南循環「大分市美術館」に乗車 約 6 分、下車後徒歩 1 分

【図書館概要】

開館日	午前 10 時～午後 6 時（入館は午後 5:30 まで） 休館：月曜日
利用者数	286,795 人（2012 年 3 月現在）
主要設備	常設展示室（4 部屋） 企画展示室（2 部屋） 図書コーナー、ハイビジョンホール、ミュージアムショップ 体験学習館・チャイルドハウス、レストラン 無料駐車場：役 130 台
所蔵品数	約 1,000 点
観覧料	一般・個人：300 円、高校生・大学生：200 円 ※中学生以下無料 ※特別展観覧料は別途

ボランティア	美術館ボランティア「こもれ美」※全 6 回の養成講座を受講
館長	菅章（大分市美術館館長、国際美術評論家連盟会員）
	<p>《経歴》</p> <p>1953 年大分県生まれ。東京造形大学卒業後、鳴門教育大学大学院修了。大分県立芸術文化短期大学非常勤講師。『吉村益信の実験店』（2000）、『アート循環系サイト』（2002）、『磯崎新 形態と機能』（2004-2005）などの企画展を担当。研究分野は日本戦後美術、現代彫刻、現代建築、近代デザイン史、美術教育。著書には『美術鑑賞宣言』（2003）などがある。</p>
収蔵品数	3,046 点（2015 年 3 月現在）
コレクション	<p>豊後南画や大分市に在住している作家の作品などを中心に収集。郷土在住作家展は 2016 年 4 月で 13 回目の開催となる。</p> <p>日本画：585 点 洋画：596 点 彫刻：161 点 工芸：106 点 写真：481 点 版画：900 点 （2015 年 3 月現在、購入・寄贈を含む合計数）</p>

【サービス内容】

「開かれた美術館」「環境と共生する美術館」「多様な空間を有する美術館」がコンセプト。緑豊かな上野丘子どもの森公園内に建てられ、「たのしんで・みて・まなぶ」美術館として、子どもから大人まで幅広く楽しめる生涯学習施設としての施設運営を目指す。

多彩な教育普及活動を展開。特に大型連休や季節ごとの子ども講座には定評がある。公園内立地をうまく活用し、子どもたちと美術館の外へ飛び出して作品を鑑賞し、自然の材料を集めて創作活動を実施している。チャイルドハウスは、自然と芸術に触れ実際に体験しながら学習できる施設として機能している。また 2005 年頃より「美術館で音楽会」と題した応募市民による演奏会イベントを、美術館内のハイビジョンホールにて開催。県内で活動する市民グループの発表の場として提供している。

【簡易分析】

美術館ボランティア「こもれ美」は毎年 80 名程度の新規参加希望者を募り運営。美術や社会貢献に関心のある市民が美術館活動に参加している点が特徴的。美術館が休館となる毎月第 1 月曜日には、美術館ボランティアによる自主企画が開催され、掲示期間の過ぎたポスターやチラシを使ってエコバッグや小物づくりを行なっている。一般の希望者は応募または抽選で参加可能。

直近の企画イベントとして「まちなかアート遊園地」2016 年 9 月 30 日（金）～10 月 2 日（日）かけて、大分市中心部 12 ヶ所で開催。街全体を巻き込むイベントとして、県内外の作家 21 組が「アートと遊び」をテーマに各所で作品展示やワークショップを実施している。

【写真】

（左：大分市美術館 美術館の使命）

<http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1301365129781/index.html>

（右：大分市 27 年度「美術館で音楽会」を開催しました）

<http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1301365129781/index.html>

知識及び教養の向上を図り、もつくり市民文化の発展に寄与する

「美術館で音楽会」をハイビジョンホールで開催しました。

たのしんで・みて・まなぶ美術館



【参考資料】

・大分市美術館でボランティア活動をしてみませんか？（大分市）

<http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1404977704575/>

・28 年度大分市美術館ボランティア企画「第 1 月曜日は図書館で楽しもう！」のご案内（大分市）

<http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1454390158851/>

5. 日出町立図書館

【施設概要】

所在地	〒879-1506 大分県速見郡日出町 3224 番地 1 Bivi 日出 2 階
開館日	2015 年 7 月 18 日 (1 階商業フロアは 2015 年 6 月 1 日開業)
設計	大和リース株式会社
敷地面積	11,181.66 m ²
延床面積	8,787.98 m ² (図書館占有面積 : 2,622 m ²)
建物構造	鉄筋造
店舗数	7 店舗
規模	地上 2 階
総工費	約 15 億円

【図書館概要】

開館時間	平日 : 午前 9:30～午後 7:00 土日祝日 : 午前 9:30～午後 5:30 休館 : 月曜日
蔵書冊数	約 65,000 冊
利用者数	約 60,000 人 (2015 年 7 月から 2015 年 1 月まで)
主要設備	閲覧席 (119 席) 学習室 ディスカッションルーム ボランティアルーム 駐車場 (169 台) 駐輪場 (72 台)
アクセス	公共交通機関の場合 JR 九州日豊本線 暘谷駅から徒歩 3 分

【サービス内容】

大型ショッピングセンターと図書館・行政スペースなどの複合施設。建物は大和リースが所有し、町は同社から当該部分を20年の定期建物賃借契約を締結。2階公共部分は、交流ひろばHiCaLiとして、町立図書館と多目的エリア、一時託児所が設置。日出町の施策と連動するように図書館部分でも子育て支援に力を入れており、児童書コーナー・お話し室・授乳サロンを整備し、一時託児所との連携も実施している。

【簡易分析】

日出町は大分市や別府市のベッドタウンとして成長しており、2016年9月末現在の総人口数は約2万8千人。旧図書館である町立萬里図書館は500㎡と狭く老朽化の課題があったため、新図書館では旧図書館の約6倍の面積を確保し、市民とつくる蔵書計画を推進している。

開館後、利用者数は大幅に増加。オープン後から半年間での来館者は6万人を超える。商業施設との複合化や駐車場の充実によって図書館にも立ち寄りやすくなったと考えられる。町外からの来館者に対する貸出は旧図書館から継続して行なっている。

【写真】（撮影：ARG）



6. 宇佐市民図書館

【施設概要】

所在地	〒879-0453 大分県宇佐市大字上田 1017-1
開館日	1999年2月27日
設計	株式会社 久米設計
敷地面積	7,155.93 m ²
建築面積	2,580.16 m ²
延床面積	3,563.05 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
規模	地上2階
総工費	約18億円

【図書館概要】

開館時間	平日：午前10:00～午後6:00 日曜日：午前10:00～午後5:00 休館：月曜日
蔵書冊数	265,493冊（2015年3月末現在）
来館者数	181,040人（2015年3月末現在）
主要設備	一般開架スペース 屋外閲覧コーナー 畳のコーナー ヤング・コーナー 視聴覚ホール 記念ギャラリー（名誉市民から寄付された美術品を展示） 研修室 ふれあい工作室 自動車図書館（移動図書館車）2台 駐車場（40台）
アクセス	公共交通機関の場合 JR九州日豊本線 暘谷駅から徒歩3分

【サービス内容】

モットーは「すべての住民に開かれた図書館」。利用者の多様な読書環境を整備するため1階には子どもスペースをはじめ、畳のコーナーやヤング・コーナー、屋外閲覧コーナーなど細かな居場所づくりが行われている。2階には、開館前に寄付された美術品を展示するための記念ギャラリーや会議・講習・講座などに利用できる研修室・和室、絵画・工作などの制作活動ができるふれあい工作室がある。ビジネス支援として地域の基幹産業である麦栽培（麦焼酎）に着目した企画展を開催。市の農政課と地元酒造メーカー、地元小学校と連携し、図書館資料を活用しながら子ども達が麦作りや麦踏み体験できる「麦の学校」プロジェクトを実施している。

【簡易分析】

宇佐市民図書館開館当時、市内の学校司書配置状況が思わしくなかったことから、学校図書館との連携に注力している。そのため、2台所有している自動車図書館（移動図書館）も、市内の小学校を中心に合計26ステーションを巡回している。学校司書や司書教諭がいない学校へは図書館利用指導のため、主に新1年生を対象に図書館司書が出張利用案内や出前ブックトークを実施。教員向けには学校用業務支援レファレンスと貸出予約を受け付け、日々の業務をサポートしている。2016年、子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣賞受賞。

【参考資料】

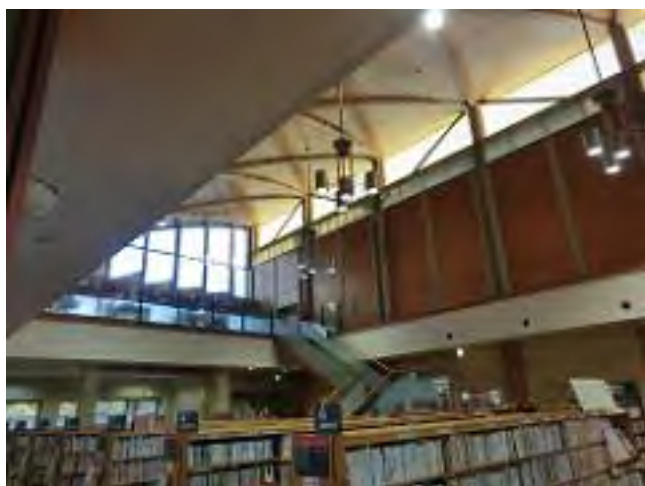
麦の学校 ～宇佐市は県内一の麦の産地～

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2014/04/09/1346572_032.pdf

「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰 受賞報告（平成28年4月28日）

<http://www.city.usa.oita.jp/site/photoalbum/32642.html>

【写真】（撮影：ARG）



考察

■建築・立地について

大分県、大分市の4施設は、県または県庁所在地であること、そして世界的建築家の出身地であることも影響しているかもしれないが、建築（ハコ）に大きな力が注がれている。大分県立美術館のように、現代建築においては建築デザインそのものが、美術館の姿勢（オープンさ、多様性等）を表すこともあるが、ライフサイクルコストの観点から考えるとどうなのかは問われるところである。

一方、自治体規模の小さい日出町立図書館は建築（ハコ）にはコストをかけず立地を優先したケースである。地方都市にとって文化施設の立地は住民の生活といかにつながるかにかかっているが、ショッピングセンターとの同居というのは、現実的な解の1つだと言える。大分県、大分市の各施設も、地域の文化情報の集積地（大分県立美術館）、公園との一体整備（大分市美術館）等、それぞれの文脈の中で生活とのつながりを考えているが、別府市においても市民の日常とのつながりから立地をどう考えるかが重要な課題になると思われる。

それから、建築の意匠は力を入れれば入れるほど、できた時代を色濃く反映するため、10年、20年と経つとどうしても古く感じられてしまう。公共施設のように期間が長いプロジェクトにおいては建築の意匠性に力を入れるよりも、まちに開けた建築や、情報空間とつながった建築等、進化する建築のあり方に力を入れる必要がある。

■ソフト・運営について

大分県立美術館、大分市美術館共に地域にゆかりのある作品のコレクションをしっかりと集めつつ、常設展や企画展を中心に最先端のデジタルアートや現代デザインとアートの融合、子どもが参加する作品づくり等、多様なプログラムを積極的に提供している。それによりこれまで美術館に足を運んだことのない方々が美術館を訪れる機会を生み出している。これは現在の美術館のトレンドでもあるが、一過性のものではなく、美術館が生き延びるためには必要な取り組みだと言える。

また、大分県立美術館は外部キュレーターを館長として招聘しているが、特にここで求められるのはマネージメントスキルを含む広義のキュレーション力である。この

広義のキュレーション力を持ったキュレーターが館長またはキュレーターとして入ることで、施設全体のスムーズな運営と柔軟な展示企画が両立している事例は大分県立美術館以外でも見られる（YCAM 山口情報芸術センター等）。

大分県立図書館、大分市民図書館においては、同自治体内においての機能区分はしっかりされており、利用層の世代も含め相互補完ができていているように思われる。日出町立図書館は司書や職員による内部での地道な努力が形に現れている一方、外とのつながりは見られない。日出町は民間の施設である（公益財団法人）二階堂美術館等、地域の文化資源があるので、MLA（Museum 博物館・美術館、Library 図書館、Archives 文書館）連携や官民連携により、市民にとってより充実した文化環境が創造できるのではないかと。別府市においても十分な検討が必要である。

宇佐市民図書館における地場産業と地元小学校との連携による体験プロジェクトは、学校では学べない社会学習プログラムとして非常に有効である。公立図書館、および公立美術館と学校図書館との連携は、地域社会における学習環境の多様化という観点からも不可欠であり、別府市の本プロジェクトにおいても最重要課題の 1 つとなる。

別府市の新図書館・美術館のあり方（アジェンダ）

■議論の前提として

- ・ 「図書館・美術館」でよいのか
 - 「博物館」機能を含めた「ミュージアム」として考えるべきか
 - 竹細工伝統産業会館など、市内施設との連携の可能性

■別府市の図書館のあり方

- ・ 大分市……県立図書館と機能分担し、駅前で市民活動支援に重点を置く
 - ・ 日出市……住民にとって使いやすい立地を選び、子育て支援にこだわる
 - ・ 宇佐市……地域と連携し、学校図書館を支援する
- では、別府市が特化すべきポイントとは？

- ・ 観光情報をワンストップで収集できる中央情報センターとしての役割
- ・ 住民が別府の歴史や文化を再発見するためのアーカイブが必要では
- ・ 学生の居場所が現在の別府市内には少ない
 - 地元住民と学生たちとの接点を創出できないか
- ・ 海外からの観光客や留学生に向けたホスピタリティ
 - Wi-Fi 対応
 - 多言語表示
 - 宗教的配慮 など

■別府市の美術館のあり方

- ・ 大分県……外部キュレーターを館長として招聘、目を惹く建築
 - ・ 大分市……公園内立地を活用、ボランティアによる企画展
- では、別府市ならではの美術館（ミュージアム）とは？

- ・ 「温泉博物館」の可能性
 - 温泉を体験しながら学べるのは別府ならではの
 - 市民と観光客をつなぎ、別府の各温泉地をつなぐ拠点
- ・ 収蔵品（コレクション）を持たない美術館の可能性
 - 既存のコレクションの扱いをどう考えるか

- 保存から展示へー文化資本を社会教育的価値の増大へ結びつける
- エコミュージアムやまるごと博物館の可能性
- 子どもや子育て中の人たちをメインターゲットにすべきか
 - エデュケーションプログラムの構築について
 - 鑑賞のハコからつくる体験の場へ
 - 子どもの創造力を育み、子どもの創造から大人が学ぶ
 - ミュージアムエデュケーターの導入について
- 施設が長く活用されるための望ましい運営形態とは
 - 学芸員、キュレーターの資質
 - 外部キュレーター招聘の可能性
 - これまでの別府市におけるアートプロジェクトの活動とどう接続していくか

■別府市の新図書館・美術館の連携、融合により広がる可能性

- 創造と発信の拠点としての一体化
 - 図書館と美術館の併設ではなく、融合した新たな施設として考えるべきでは
 - ライブラリーとミュージアムを包括した新しい呼び方はないか
- 別府らしい文化拠点の形は
 - 「多様性と受容性」「混浴」「混ぜる教育」
 - 分散型、ネットワーク型の新しい図書館・美術館のあり方
 - 建物（ハコ）の整備ではなく、図書・芸術文化環境の創造プロジェクトという観点で考える

別府市ならではの 図書館・美術館の あり方は？

別府市立図書館及び

別府市美術館整備基本構想検討委員会

1

議論の前提として

「図書館・美術館」でよいのか？

「博物館」機能を
含めた「ミュージ
アム」として考え
るべきか

竹細工伝統産業会
館など、市内施設
との連携の可能性
は？

別府市の図書館のあり方

大分市

県立図書館と機能分担
駅前でも市民活動支援に重点を置く

日出町

住民にとって使いやすい立地を選ぶ
子育て支援にこだわる

宇佐市

地域と連携
学校図書館を支援する

→では、別府市が特化すべきポイントとは？



観光情報をワンストップで収集できる
中央情報センターとしての役割



住民が別府の歴史や文化を再発見
するためのアーカイブが必要では



学生の居場所が現在の別府市内には少ない
地元住民と学生たちとの接点を創出できないか



海外からの観光客や留学生に向けた
ホスピタリティ

(Wi-Fi対応／多言語表示／宗教的配慮など)

別府市の美術館のあり方

大分県

外部キュレーターを館長として招聘
目を惹く建築

大分市

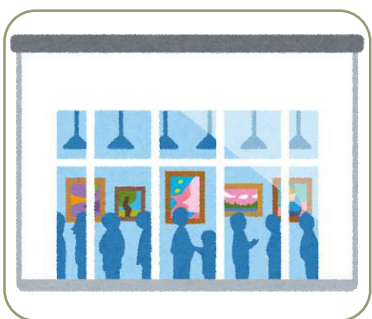
公園内立地を活用
ボランティアによる企画展

→では、別府市ならではの美術館
(ミュージアム) とは？



「温泉博物館」の可能性

- ・ 温泉を体験しながら学べるのは別府ならではの
- ・ 市民と観光客をつなぎ、別府の各温泉地をつなぐ拠点



収蔵品（コレクション）を持たない 美術館の可能性

- ・ 既存のコレクションの扱いをどう考えるか
- ・ 保存から展示へー文化資本を社会教育的価値の増大へ結びつける



エコミュージアムやまるごと博物館の可能性



子どもや子育て中の人たちをメイン
ターゲットにすべきか

- ・エデュケーションプログラムの構築について
- ・鑑賞のハコからつくる体験の場へ
- ・子どもの創造力を育み、子どもの創造から
大人が学ぶ
- ・ミュージアムエデュケーターの導入について



施設が長く活用されるための望ましい
運営形態とは

- ・学芸員、キュレーターの資質
- ・外部キュレーター招聘の可能性
- ・これまでの別府市におけるアート
プロジェクトの活動とどう接続していくか

連携・融合により広がる可能性

創造と発信の拠点としての 一体化

- ・ 図書館と美術館の併設ではなく、融合した新たな施設として考えるべきでは
- ・ ライブラリーとミュージアムを包括した新しい呼び方はないか

別府らしい文化拠点の形は

- ・ 「多様性と受容性」
「混浴」「混ぜる教育」
- ・ 分散型、ネットワーク型の新しい図書館・美術館のあり方
- ・ 建物（ハコ）の整備ではなく、図書・芸術文化環境の創造プロジェクトという観点で考える

広報ツールのご案内と
ご協力をお願い

「別府 図書館 美術館」で検索！

<p>facebook ページ</p> <p>「図書館・美術館整備基本構想（別府市役所生涯学習課）」</p> 	<p>ホームページ</p> 
---	---

<p>検討委員会</p>	<p>概要</p>	<p>リンク  詳細 {</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議資料 ・議事録
<p>ワークショップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きの写真 ・各チームの発表 ・(追加) 募集のお知らせ 	<p>リンク  募集要領、申込書</p>
<p>その他の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館及び美術館職員へのヒアリング ・現在の図書館の取組み及び美術館の展示物紹介 等 	